

夢や志の実現に向けて
—ふるさとを愛し、夢に向かって努力を続ける生徒の育成—

文責 (校長) 圓 田 雅 也

— 体育祭(10/5 開催)の練習が始まりました —

「さぁ行こう 新中魂の最高地点!」このスローガンのもと、9/24(火)より体育祭の練習が始まりました。残暑(猛暑)が心配ということもあり、全校練習を1.2校時に、その後に学年練習を入れるなど、全体での練習はできるだけ気温が低い時間帯に行えるような計画でスタートしました。全校練習は生徒会執行部を中心に進められ、体育祭を成功させるために一生懸命頑張っているところです。初日は、朝から秋の気配を感じるほど気温も良い状態で、子どもたちも運動しやすい状況の中、無事に練習を終えることができました。今のところ午前中は涼しく動きやすい感じですが、また日中ともなると気温も上がってくるため、練習中に休憩時間を確保し、水分補給をするなど熱中症予防にも努めています。これから体育祭に向けて、日々の練習から疲れも出てくる時期だと言えます。ご家庭でも、朝食や睡眠をしっかりと摂るなど、体調管理には十分気を付けて頂ければと思っておりますので、よろしく願い致します。また、揖龍新人大大会が、9/28(土)~9/29(日)の日程で開催されます。この大会は、3年生が引退してから初めての公式戦となります。1・2年生は、夏休みから新キャプテンを中心に一生懸命練習に取り組んできました。壮行会では、各部のキャプテンが試合への抱負や決意を語り、大会への強い思いや意気込みが感じられる決意表明となりました。新中生として自信と誇りを持って、試合に臨んでほしいと思っております。新人大大会にあたり、スポーツの話題を一つ挙げさせていただきます。米大リーグのドジャーズの大谷選手が前人未達の「50 本塁打、50 盗塁」を成し遂げました。大谷選手は、「今年は投げられないので、盗塁を増やしたい」とドジャーズに移籍して間もない1月に球団に強い意志を伝え、重点的に取り組んだのが加速の向上だそうです。短い距離をダッシュする練習を反復することで地面への力の伝え方を改善させ、塁間のタイムは昨季より 0 秒05速くなり、メジャー7年目で最速となったそうです。さらに栗山英樹(WBC優勝日本代表監督)さんからも「日本ハムファイターズの監督時代に大谷選手を1番・投手で起用した際、大谷選手は、「ホームランを狙って、空振りしてきます」と言って打席に向かい、初球をいきなりホームランという結果とし、1番で投手の先頭打者の本塁打は、日本人初の快挙だったというエピソードがあります。まさに「有言実行」とはこのことであり、世界最高選手の偉大さを感じさせます。今後の大谷選手の活躍とともに、新人大大会での新中生の躍動にワクワク感を持って期待しているところです。



【全校練習(ラジオ体操)】